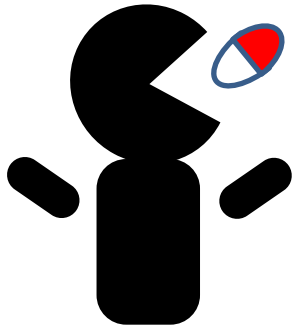
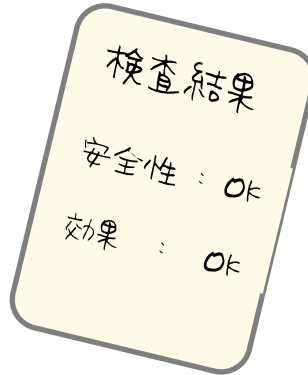


治験ってそもそもなに？

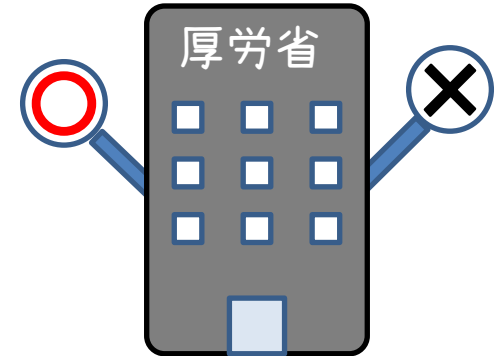
- 治験は薬を販売するために必要な「お薬の試験」です



① 人に投与する



② データにする

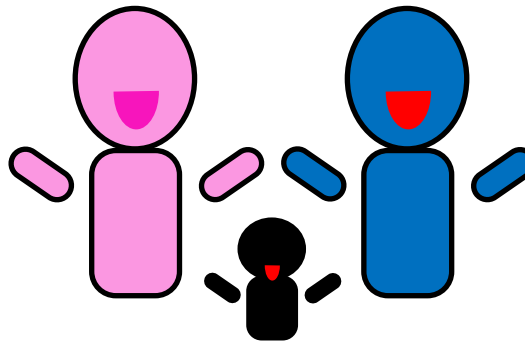


③ 販売可否を判断する

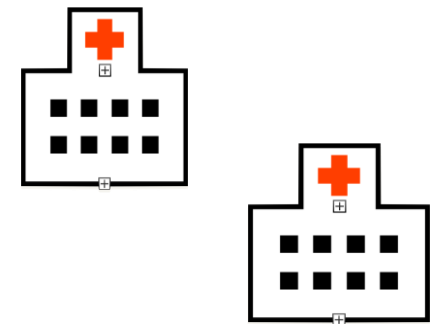
治験がないとどうなる？

効果、安全性が分からない薬が世の中に数多く出回ることになり、薬によってかえって健康被害が起こってしまう可能性がある。

人々の健康を守る薬だからこそ、厳密な基準が必要になるんだね。



⑤ 健康が守られる



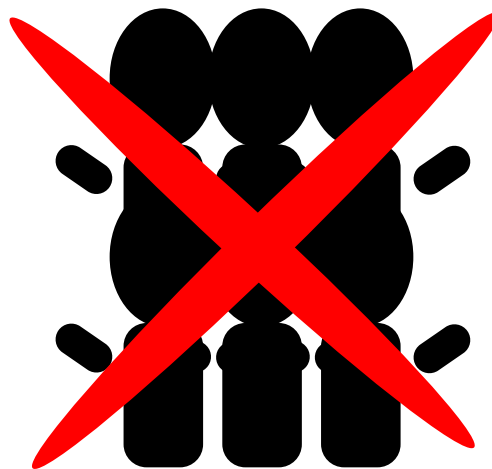
④ 薬が販売される

治験にある3つの課題



①

誰でも参加できるわけじゃない



②

協力者が足りない



4000種類以上



約800種類



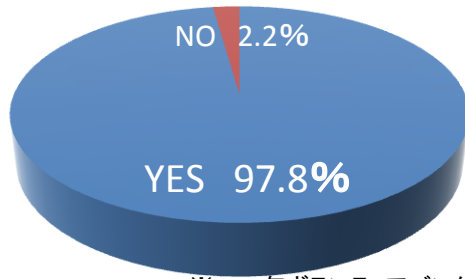
約450種類

③

日本は新薬開発で負けている

ヒューマがしていること

Q また治験に参加したいですか？



※2013年ボランティアバンク調べ

治験のリピート率の高さに着目し、「まず参加」していただける仕組み

◆インターネットを活用した治験情報サービスの提供
(ボランティアバンク)

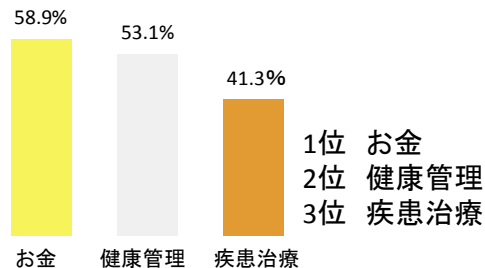
アンケート

1. 今飲んでいるお薬の種類は？
 2. 病気の既往歴は？
 3. 血圧の値はいくらですか？
- ご協力ありがとうございます

治験の種類毎に生じる細かい条件を見極め、簡単に治験をマッチングするシステム

◆特許取得のWEB治験適格度診断
(クロノスウィズ)

Q 治験参加理由は？



※2013年ボランティアバンク調べ

治験のメリットをアンケートによって収集し、伝える
※お金稼ぎ、社会貢献だけではない治験のメリット

◆健康体験としての治験参加者エピソード発信